



あまくさ

市議会だより

第27号

2019年2月号



保育園児の初詣



本渡町の大矢崎区で行われた鬼火焼き



佐伊津町で行われた空手の初稽古



お正月を迎え飾り付けられた二江漁港島地区の漁船

平成最後の年がスタート

平成最後の年が幕を開け、各地では新春ならではの光景が見られました。

主な内容

- 新庁舎開庁日が6月3日に P 2～3
- 子ども医療費の助成対象を拡大 P 4
- 本渡地区に学校給食センターを整備 P 5
- 平成30年第5回臨時会 P 7
- 一般質問 P 8～13
- 常任委員会視察報告 P 14～15

TOPICS

こんなことを
話し合い
決めました

平成30年第6回定例会は、12月4日(火)から12月21日(金)の18日間の会期で行いました。

条例の改正や補正予算などの議案等が提出され、慎重審議の結果、すべて原案どおり可決しました。

今号では、この中から3件を詳しく紹介します。

今回の議案等は64件

※議案一覧は6ページに掲載。

- 承認 …………… 1件
- 条例 …………… 9件
- その他 …………… 23件
- 予算 …………… 11件
- 人事 …………… 19件
- 請願 …………… 1件



本庁舎建設工事の工期延長により

新庁舎の開庁日が6月3日に!!

電気設備工事・機械設備工事の
工事請負契約の変更を可決

本庁舎電気設備工事及び本庁舎機械設備工事において、議場システムの機能追加や、天候不良及び労務不足等による本庁舎本体の建築工事の工期延長に伴い、契約金額の増額を行う工事請負契約の変更の議案が提出され、原案のとおり可決しました。

工期の延長については、11月9日の第5回臨時会において関連補正予算が提出され可決されて

おり、工期延長等に伴う工事費は電気設備工事で1,423万7,345円、機械設備工事で314万721円の増額となります。

なお、本体建設工事については、施工業者から工期延長に伴う工事費の増額は辞退するとの申し出があり、工事費増額の必要はないとのことでした。

増額後の工事費

庁舎建設工事 29億52万3,262円(増額なし)
電気設備工事 5億2,075万7,435円
機械設備工事 9億926万721円

たび重なる台風到来や記録的猛暑、
全国的な労務不足により工期が延長に

昨年はたび重なる台風の到来による天候不良、夏の猛暑による作業効率の低下、全国的な建設作業員の労務不足など、施工業者に責任を負わせることができない理由により本体工事に遅れが生じたため、工期を延長することとなりました。また、これにより新庁舎の開庁日も延期となりました。

工期の延長

・当初の工期 平成31年2月28日
・変更後の工期 平成31年4月26日

(約2カ月間の延長)

工期の延長による開庁日の変更

・当初の開庁日 平成31年4月1日
・変更後の開庁日 平成31年6月3日



イルカセンターの工期も延長に

今定例会には、イルカセンターの工期延長に伴い施行日を変更する条例の改正と指定管理者の指定の2つのイルカセンター関連議案が提出されそれぞれ原案どおり可決しました。

イルカセンターの工期延長については、夏の猛暑による作業効率の低下や建設作業員の不足に加え、建設資材の不足等の原因もあり、工期を約2カ月延長することとした。これにより開館も当初の4月1日から6月1日に変更されました。

なお、イルカセンターの指定管理者には天草漁業協同組合が指定されました。



▲6月1日にオープンする天草市イルカセンター



総額602億1,163万円に 新たに 本渡学校給食センターを整備

一般会計 補正予算

本渡学校給食センター建設用地を購入

1億7,392万円

内容

本渡地区の東町のゴルフ練習場跡地に建設する新しい本渡給食センターの用地、約7,674平方メートルを購入する。



質疑

この用地に決定した経緯は、建設用地の選定に当たっては、市公有財産利活用・取得・処分等検討委員会において審議がなされ、場所の選定は、「利便性の向上」を第一義に考え、交通アクセスや面積等、大きく4つの要件から比較検討し決定した。

平成30年第6回定例会には、予算関連案件として、一般会計1件、特別会計7件、企業会計3件の補正予算が提出され、すべて原案どおり可決しました。

ここでは、一般会計補正予算の主な内容や予算決算委員会での質疑の内容をご紹介します。なお、金額はすべて表示単位未満を四捨五入しています。

質疑
問 4月の施行に間に合うのか。
答 1月中旬に対象者に通知、2月に申請の受け付け、そして3月中には受給者証を発行する予定。
問 市外に住居登録がなされている者を扶養している保護者への対応は。
答 本市以外に住居登録がなされ

質疑

4月1日から、子ども医療費の助成対象を、現在の15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者から、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者に拡大する。

内容

18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者に拡大



ている者を扶養している保護者についても、子育て支援の充実を図るため、補助要領を定め、子どもの医療費の助成を行う。

TOPIC 02

今年4月から
子ども医療費の助成対象
を拡大

小学校に空調設備を整備

5億8,038万円

(うち国からの交付金1億1,492万円)

内容

学校施設的环境改善を図ることを目的に、市内の小学校17校の普通教室・特別教室等、計246室の空調設備設置工事を実施する。

質疑

春休み期間中に設置できないか。
2月から1カ月間ほど入札公告の期間を設け、3月上旬に入札・契約を行い、機器の納入期間を十分考慮し、工期を9月末までとする予定であるが、規模の小さい学校では、可能な限り夏休み前に工事を完了するようお願いしたい。



定住促進奨励金及び 空き家活用事業補助金を増額補正 600万円

内容

申請件数の増加に伴い、定住促進奨励金及び空き家活用事業補助金が不足する見込みとなったため、補正する。

質疑

天草市への移住者の状況について。
熊本県内でもトップクラスの移住者数で、東京での相談会においても、本市のブースには多くの相談者が来場しており、本年度も昨年度を上回るペースで移住者数が推移している。
※平成29年度移住者数 56世帯 106人



氏名	住所	新任・再任
小林 一伸	北原町	新任
田中 美鈴	本渡町	新任
澤村福重郎	有明町	再任
河内 正一	有明町	新任
高田眞喜雄	倉岳町	新任
三浦とも子	五和町	新任
藤本 律子	天草町	新任
吉田 菊美	河浦町	再任

内容

人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求める議案8件が提出され、すべて原案どおり同意しました。

再任2名
新任6名の人事案件に同意

TOPIC 03

人権擁護委員の
8名の人事案件に同意

人権擁護委員とは

活動内容は、法務局と連携し、地域のみなさんから人権相談を受け、解決に向けた支援や、人権侵害の被害者救済、市民のみなさんに人権に関する意識を高めてもらうための街頭啓発活動、管内施設や保育園、小学校、企業などを訪問し実施する人権研修です。

啓発活動の取り組みの中には、花を育てることにより「命の大切さ」「相手を思いやる心」を育むことを目的として、毎年度小学校を1校選定し実施する『人権の花運動』や、中学生を対象にした『全国人権作文コンテスト』の選定があります。また、子どもたちから『子どもの人権SOSミニレター』で届けられた手紙に応じ、寄り添い、子どもたちの声を救済に結びつける活動もあります。

平成30年 第5回臨時会

平成30年天草市議会第5回臨時会が11月9日に開催され、専決処分事項の報告1件、補正予算1件の議案等が提出され、補正予算については原案のとおり可決されました。

また、議員提出議案として、宮下幸一郎議員に対する問責決議が提出され、全会一致で可決されました。

●平成30年第5回臨時会議案等

議案番号	件名	付託先	議決の結果
報告第12号	専決処分事項の報告について(市道における車両破損事故に係る和解及び損害賠償の額を定めるもの)	-	-
議第162号	平成30年度天草市一般会計補正予算(第4号)	付託省略	原案可決
議員提出第8号	宮下幸一郎議員に対する問責決議	付託省略	原案可決

また、昨年7月の豪雨等により被災した市内の農業施設等の災害復旧事業費を補正する。
補正額 1億894万7千円
補正後の額 570億6,816万5千円

天草市庁舎建設事業並びにイルカセンター整備事業について、度重なる台風の到来による天候不良全国的な工事特需による建設作業員の不足及び一部資材の不足等が生じたため、年度内の完成は困難と判断し、工期延長に伴う事業予算の補正及び繰越を行う。

議第162号 平成30年度天草市一般会計補正予算 (第4号)

市道部に設置している側溝グレーチング蓋が跳ね上がり、車両に損傷を与えた事故について、車の修理代金として損害賠償金を支払うもの。

質疑

市道部に設置している側溝グレーチング蓋が跳ね上がり、車両に損傷を与えた事故について、車の修理代金として損害賠償金を支払うもの。

内容

報告第12号 専決処分事項の報告について

また、昨年7月の豪雨等により被災した市内の農業施設等の災害復旧事業費を補正する。
補正額 1億894万7千円
補正後の額 570億6,816万5千円

天草市庁舎建設事業並びにイルカセンター整備事業について、度重なる台風の到来による天候不良全国的な工事特需による建設作業員の不足及び一部資材の不足等が生じたため、年度内の完成は困難と判断し、工期延長に伴う事業予算の補正及び繰越を行う。

宮下幸一郎議員に対する問責決議

宮下幸一郎議員は、所有するクレーン付きトラックの車検及び自賠責保険が、20年ほど前に切れていることを認知していたにもかかわらず、複数回にわたり公道を運転した。さらには、知人に、同車両を、車検が切れていることを伝えたくて貸したことを本人も認めている。

宮下幸一郎議員に対する問責決議

宮下幸一郎議員は、所有するクレーン付きトラックの車検及び自賠責保険が、20年ほど前に切れていることを認知していたにもかかわらず、複数回にわたり公道を運転した。さらには、知人に、同車両を、車検が切れていることを伝えたくて貸したことを本人も認めている。

宮下幸一郎議員に対する問責決議を全会一致で可決

第5回臨時会において、議員提出議案として宮下幸一郎議員に対する問責決議が提出され、全会一致で可決し、宮下議員へ決議文の送付を行いました。

平成30年第6回天草市議会(定例会)議案等

議案番号	件名	付託先	議決の結果
議第163号	専決処分事項の承認について(平成30年度天草市一般会計補正予算第5号)	付託省略	承認
議第164号	天草市行政文書管理条例の制定について(新庁舎の開庁等に併い、本市における行政文書の新たな管理体制を構築するため、条例を制定するもの)	総務政策	原案可決
議第165号	天草市立天草アーカイブズ条例の一部を改正する条例の制定について(行政文書管理条例の制定等に併い、天草アーカイブズの運営体制の見直しを行うため、条例を改正するもの)	総務政策	原案可決
議第166号	天草市議会議員に対する議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(国の人事院勧告等を踏まえ議員並びに市長、副市長、教育長及び病院事業管理者の期末手当を変更するため、条例を改正するもの)	総務政策	原案可決
議第167号	天草市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(国の人事院勧告等を踏まえ職員の給料表及び各種手当等を変更するため、条例を改正するもの)	総務政策	原案可決
議第168号	天草市家庭の保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について(事業者の管理運営義務等を緩和するため、条例を改正するもの)	教育厚生	原案可決
議第169号	天草市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について(子ども医療費の助成対象を拡大することに併い、条例を改正するもの)	教育厚生	原案可決
議第170号	天草市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について(地域生活支援事業の実施に関する事務について個人番号を利用するため、条例を改正するもの)	市民生活	原案可決
議第171号	天草市イルカセンター条例の一部を改正する条例の制定について(イルカセンター建築工事の工期の延長に併い、施行日を変更するため、条例を改正するもの)	建設経済	原案可決
議第172号	天草市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(市立新和病院において、療養病床を一般病床に変更するため、条例を改正するもの)	教育厚生	原案可決
議第173号	熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について(構成団体のひとつが名称を変更するため、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるもの)	総務政策	原案可決
議第174号	天草市広域連合の処理する事務及び規約の一部変更について(共同処理する事務(災害弱者緊急通報センターの管理運営)を民間委託方式へ移行するため、議会の議決を求めるもの)	総務政策	原案可決
議第175号	工事請負契約の変更について(本庁舎電気設備工事)(「本庁舎電気設備工事」の契約金額を変更するため、議会の議決を求めるもの)	総務政策	原案可決
議第176号	工事請負契約の変更について(本庁舎機械設備工事)(「本庁舎機械設備工事」の契約金額を変更するため、議会の議決を求めるもの)	総務政策	原案可決
議第177号 ～193号	指定管理者の指定について(わくわく本渡児童館、本渡児童センター、御所浦物産館、天草市栖本温泉センター、天草市総合交流施設愛夢里、新和緑の村、天草市総合交流ターミナル施設ユメール、天草市下田温泉センター、天草市牛深温泉センター、うしぶか海鮮館、宿泊施設やすらぎ荘、リップランド公園、河浦海上コテージ、下田温泉ふれあい館ぶらっと、天草市イルカセンター、天草市営住宅、天草交流センターブルーアイランド天草)	教育厚生 建設経済	原案可決
議第194号	公有水面埋立免許に関する意見を述べることに伴い(御所浦町の大浦元浦漁港水産生産基盤整備事業に併い、公有水面埋立て許可に関する意見を述べるため、議会の議決を求めるもの)	建設経済	原案可決
議第195号	市道路線の廃止及び認定について(市道について、5路線を廃止し新たに6路線を認定するため、議会の議決を求めるもの)	建設経済	原案可決
議第196号 ～206号	平成30年度天草市一般会計補正予算(第6号) 平成30年度天草市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 平成30年度天草市介護保険特別会計補正予算(第2号) 平成30年度天草市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 平成30年度天草市浄化槽市町村整備推進事業特別会計補正予算(第1号) 平成30年度天草市国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第1号) 平成30年度天草市歯科診療所特別会計補正予算(第1号) 平成30年度天草市斎場事業特別会計補正予算(第2号) 平成30年度天草市病院事業会計補正予算(第1号) 平成30年度天草市水道事業会計補正予算(第2号) 平成30年度天草市下水道事業会計補正予算(第2号)	予算決算	原案可決
議第207号 ～210号	新合財産区管理委員の選任について(上野豊氏(河浦町)、荒川克幸氏(河浦町)、赤松久夫氏(河浦町)、柳本春義氏(河浦町))	付託省略	同意
議第211号 ～217号	一町田財産区管理委員の選任について(谷口浩幸氏(河浦町)、倉田精一氏(河浦町)、金山幸雄氏(河浦町)、杉本公一氏(河浦町)、田嶋悟氏(河浦町)、落合正實氏(河浦町)、河原宗利氏(河浦町))	付託省略	同意
議第218号 ～225号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(小林一伸氏(北原町)、田中美鈴氏(本渡町)、澤村福重郎氏(有明町)、河内正一氏(有明町)、高田眞喜雄氏(倉岳町)、三浦とも子氏(五和町)、藤本律子氏(天草町)、吉田菊美氏(河浦町))	付託省略	同意
請願第8号	核兵器禁止条約に署名・批准し、条約の早期発効を求める意見書=天草アピール=について(請願)	総務政策	不採択

- 議第196号 平成30年度天草市一般会計補正予算(第6号)
- 議第197号 平成30年度天草市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 議第204号 平成30年度天草市病院事業会計補正予算(第1号)
- 議第206号 平成30年度天草市下水道事業会計補正予算(第2号)
- 請願第8号 核兵器禁止条約に署名・批准し、条約の早期発効を求める意見書=天草アピール=について(請願)

賛否表

会派名	天政会			市民クラブ			政友会			新風天草			日本共産党		公明党		無会派			表決数	結果								
	池田裕之	脇島義純	中村三千人	勝木幸生	鶴戸継啓	大塚基生	益田政昭	下田昇一郎	五嶋善彦	澤井一富	浜崎昭臣	平山泰司	船辺修	柴田誠	中尾友二	田中茂	濱洲大心	前田正之	蓮池良正			浜崎義昭	赤木武男	五通俊作	古賀源一郎	若山敬介	宮下幸一郎	門口徹	
議第196号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23:2	原案可決
議第197号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23:2	原案可決
議第204号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23:2	原案可決
議第206号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23:2	原案可決
請願第8号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	4:21	不採択	

※起立採決により賛否が分かれたものに限ります。(○は賛成、×は反対) ※古賀源一郎議員は議長職のため、表決には加わりません。

一般質問

一般質問とは、議案と関係なく行政事務の状況や将来に対する方針などを質問するもので、定例会に限って行われます。今回の一般質問は、12月17日から19日までの3日間で行われ、11人の議員が質問に立ちました。

※掲載原稿は質問した議員本人が要約したものです。

番号	通号	質問者	質問事項
1	中尾 友二	中尾 友二	①天草キリシタン館の管理運営について ②天草市防災行政無線「戸別受信機」の設置状況等について ③会計年度任用職員制度について
2	浜崎 義昭	浜崎 義昭	①市民所得向上と税負担について ②命を守る水産業補助金について ③教育現場の現状について
3	大塚 基生	大塚 基生	①ふるさと納税について
4	若山 敬介	若山 敬介	①会計年度任用職員制度について
5	前田 正之	前田 正之	①道路の景観整備及び道路管理計画について ②上島広域農道(愛称:天草オレンジライン)の利活用について ③防災行政無線の整備状況について
6	下田昇一郎	下田昇一郎	①子ども食堂について ②地域コミュニティ施設の整備について
7	赤木 武男	赤木 武男	①高齢者への肺炎球菌ワクチンの接種について ②特定健康診査(特定健診)受診率向上に向けた取り組みについて ③人工透析対策として、糖尿病の受診勧奨について ④AEDに関する質問と併せて設置場所、設置方法などについて
8	浜崎 昭臣	浜崎 昭臣	①廃校水族館について ②天草市健康診査について ③天草市夕陽の日制定について
9	蓮池 良正	蓮池 良正	①市民要求を実現するために ②住環境の改善への努力
10	五通 俊作	五通 俊作	①廃校の今後の取り組みについて ②救急医療のシステムについて
11	門口 徹	門口 徹	①天草市総合計画について ②スクールバスについて

●市民所得向上と負担軽減 ●命を守る水産業補助金 ●教育現場の現状



浜崎 義昭 議員

【県内で市民所得がどの位置にあるのかを把握した税負担を】

浜崎 天草市民の一人当たりの所得が、県内32位である分析は、

総合政策部長 この経済推計は、就業人口や高齢化率そして民間法人企業の影響を受けた結果となっているが、所得は上昇傾向にある。

浜崎 所得向上の施策は、どのようなものがあるか。

経済部長 地産地消・他消で経済の好循環を図る。

浜崎 市民所得からみて税金の負担割合が多いのでは。

市民生活部長 市民の税負担は他市同様と考える。

浜崎 消費税と同じで所得の低い天草市民にとっては負担増である。

【県最大の水揚げを誇る牛深の漁業の現場で4件の事故。漁業者の命を守る設備設置補助を求める】

浜崎 各分野の補助金は。

経済部長 農業圃場整備事業は受益者負担5〜7・5%。安全設備の整備に関する補助金は漁業にはない。

浜崎 水産業の天草における経済

的位置は。

経済部長 本市の第1次産業のうち水産業の占める割合は57・8%、そのうち牛深の総水揚げで棒受網漁の割合は約20%。

浜崎 一歩間違えば死亡事故につながるかな。農業と同じように補助を求める。

【教育現場の勤務実態の改善を行うことで教職員がより子どもたちに向き合うことができる】

浜崎 長時間勤務は改善されたか。

教育部長 超過時間が月80時間を越えた職員の延べ人数は640人。時間縮減を促進する。

浜崎 授業数に見合った教員数になっっているか。

教育部長 教職員の数は国や県の基準で定められているが、本市では補助教員等を配置しており、教職員の負担は軽減されていると考える。

浜崎 授業に関係ない文書報告等の削減を求める。

教育部長 県と協議を進めている。

天草キリシタン館の管理運営について



中尾 友二 議員

中尾 開館時間は午前8時30分〜午後6時までだが午後5時以降の入館は極めて少ない。経費削減や現状に即した開館時間への変更は。

観光文化部長 運営委員会からの答申でも指摘があり平成31年4月より閉館時刻を午後5時までに試行できないか検討をしている。

中尾 入館料は展示資料の価値、施設の管理運営費及び周辺の類似施設の料金を参考にされるべきであり値上げを検討すべきと思うが。

観光文化部長 中高生の料金改定は行ったが、一般利用者の観覧料は社会の情勢が大きく変わる中、40年間見直しが行われていない。この点についても運営委員会からも指摘があり、今後の管理運営体制や展示内容の見直しにあわせ、検討をしていく。

中尾 指定管理者制度の導入については、既に運営委員会へ諮問され答申を受け検討されていると思うが。

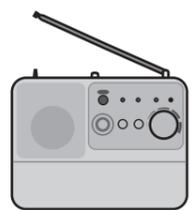
市長 運営委員会の答申を踏まえ、今後、行政と指定管理者が業務を分割して行う形での先進事例

の調査や役割分担、費用効果、更にはキリシタン系資料館一体としての導入方法等、充分検証のうえ、指定管理者制度導入に向けた提案を行っていきたいと考えている。

【戸別受信機の設置について】

中尾 防災行政無線「戸別受信機」の重要性や必要性を盛り込んだ設置案内の配布、更なる周知は。

総務部長 今後も、未設置の世帯や新たに転入されてこられた世帯等に引き続き設置することとしているので、戸別受信機の重要性や必要性等を盛り込んだ設置案内を継続的にあらゆる機会に周知していく。



ふるさと納税で天草を元気に



大塚 基生 議員

【地域商社の「宝島物産公社」を返礼品の取扱事業者にできないか】

大塚 今年から熊本の事業者に委託しているが、手数料は何%か。

財政課長 寄附金申し込み後のすべての業務とし、16%になる。

大塚 市が設立した宝島物産公社を取扱事業者に指定できないか。

総合政策部長 特産品の開発、販路の拡大等は望ましいが、ふるさと納税の業務を行う体制になっていないので、現時点での指定は難しい。

大塚 官民協働で地域密着型の地域商社に育てることが重要では。

市長 物産公社もアマビズも公的な支援機関の役割を果たしている。公社を地域商社として育てていくのも選択の一つである。

大塚 地域商社のいいところは、地元根差して活動し、地域内でお金を循環させる拠点になること。市外に委託すると、お金が地域外に流出する。地元その経験やノウハウが蓄積されない。手間は省けるが、契約が終わればそれで終わり。地元で地道に取り組ん

でいけば、その経験を生かして次なる展開を考えることができる。地元事業者への委託を要望する。

【クラウドファンディング型ふるさと納税について】

大塚 総務省が支援するクラウドファンディング型ふるさと納税の活用には、広く共感を得る使いみちの検討が必要では。

総合政策部長 リニューアルの時期かと考えている。本市が進める施策を吟味して、全国へPRできるようにネーミングやキャッチコピーなど検討していく必要がある。

大塚 地域商社でお礼品の充実と広く共感を得る使いみちを検討され、天草が元気になることを期待する。



会計年度任用職員制度について



若山 敬介 議員

若山 天草市は、総務省が実施した臨時・非常勤職員の実態把握調査や制度の準備状況調査は行ったのか。報告は済んでいるのか。
総務部長 市では、実態把握調査は、平成29年11月に、状況調査は、平成30年5月に済ませた。県からの調査にも随時応えている。

若山 調査項目を職員組合と共有するのか。なぜ、必要なのか。
総務部長 準備状況調査については情報提供している。同じ職場で働く職員の制度への理解とより良い制度の運用が図られると考える。

若山 臨時・非常勤職員の処遇改善をどのように考えているのか。
総務部長 会計年度任用職員については、給与・手当等の設定、休暇制度等において改善に努める。

若山 制度開始は、2020年4月からとなっているが、具体的なスケジュールは組んでいるのか。
総務部長 2019年の6月議会に、関係条例の提案を考えている。制度を検討する中で、職員労働組合との協議も実施する。任用(採用)者には、関係条例制定後に公

募を実施する。秋前には、説明を予定している。

若山 この制度は、臨時・非常勤等職員の任用・勤務条件を確保することを目的としているが、国から地方への財源措置が明確になっていない。市長会で国へ要請すべきではないか。
市長 この制度は、国の指導により実施されるものである。新たに発生する給与等大幅な経費の増加が見込まれる。厳しい財政状況を踏まえて、十分な財政措置を講じるよう県市長会から、九州市長会、全国市長会を通じ国へ要望している。



子ども食堂について 地域コミュニティ施設の整備について



下田 昇一郎 議員

【子ども食堂について】

下田 昨年5月に天草市でもスタートした「子ども食堂」の利用者数や運営状況と今後の課題は。
健康福祉部長 昨年5月から10月までの半年間で利用者総数は2,250人、1日平均50人の利用がある。資金面は利用料や寄附、運営団体等の物販の収入等で賄われており、食材については地域の方々や企業、団体等からの寄付があり、場所に関しては社会福祉法人から提供いただいている。今後の課題としては、継続していくための人員確保や財源の確保、団体としての基盤強化とのこと。

下田 委託事業としての安定した取り組みについて。
市長 委託事業 業とすると一定の縛りや基準を設けてしまふこととなり、現在行われているような柔軟な発想による運営を



阻むことにもなるので、今後の活動状況を見守っていきたくと考えている。
下田 今後、運営団体との話し合いの場を持っていただくようお願いしている。

【地域コミュニティ施設の整備について】

下田 近年、日本列島を襲う夏の猛暑を受けて、本市の各地域で運営されているコミュニティセンターの講堂などの施設への空調設備の設置状況は。
地域振興部長 本市の地区コミュニティセンター53施設のうち、47施設に講堂や集会所があり、34施設に空調設備が設置されており、残りの13施設が未設置となっている。

下田 未設置の地域においては要望も挙がっているが、近年の状況も踏まえスピード感のある対応を求める。
市長 未設置の箇所については、関係者のご理解が得られれば来年度から順次設置していきたい。

●道路の景観及び道路管理計画について ●上島中央広域農道(愛称:天草オレンジライン)の利活用について ●防災行政無線の整備状況について



前田 正之 議員

前田 観光客等へのおもてなしの為に市道清掃ボランティア活動や国・県道の清掃活動を本市と熊本県が連携して推進することで天草を快適な美しい道路景観に。
建設部長 市道清掃ボランティア事業の更なる啓発と推進を行い、県天草広域本部と協議連携を図りながら道路景観の改善に努める。

前田 道路の維持管理の基本方針や点検・整備基準は。現状の対策と将来計画はどうなっているか。
建設部長 道路の点検診断基準に基づき長寿命化修繕計画を策定し予防保全措置を講じる。路線の重要性や整備効果・地域性等を考慮しながら優先順位を定め計画的に取り組み。

前田 上島中央広域農道の利活用を図るため接続市道の側溝蓋設置等改良改修
前田 区長に状況確認しスピードカーの角度や音量調整を行い、更に不調な場合は戸別受信機設置後に屋外子局の増設等も検討する。

前田 有料で希望設置の条件は。
総務部長 設置を希望される事業所または2台目を希望される世帯には、市で購入後償還渡制度を協議中。
前田 配備しない自治公民館や消防団詰所にも設置を要望する。



●高齢者への肺炎球菌ワクチンの接種 ●特定健診の受診率向上について ●AEDの設置場所、設置方法、活用方法



赤木 武男 議員

赤木 平成26年度からの肺炎球菌ワクチンの接種率は。また、今後も含めた接種勧奨の取り組みは。定期接種制度を利用できなかった方への救済措置を設けるべきではないか。
健康福祉部長 平成26年度から29年度までの接種率は約6割。全国的な平均接種率は、平成28年度までの3年間で約34%。天草市の接種率が高いのは、天草郡市医師会の協力により身近なかかりつけ医で接種できる体制が取られており、対象者には年度初めに個別接種勧奨書を送付し、12月までの未接種者には、再度勧奨書を送っている。来年度以降定期接種の対象者は、65歳のみが対象で接種期間は、66歳の誕生日の前日までとなりコール・リコールを行う。未接種者への救済措置は、周知の方法や未接種者が多いこと等の課題もあり、今後国の動向を注視したい。

赤木 特定健診の受診率向上を目指す取り組みについてと健診受診料の自己負担金の無料化について伺う。
市民生活部長 受診率の目標設

定は50%で、29年度は過去最高の約39%。対象者への通知方法は、毎年3月下旬に世帯ごとに健診の内容や申し込み方法を記載した「健康診査のお知らせ」を郵送している。健診費用は約1万円、個人には900円を負担して頂いており、無料化は考えていない。
赤木 公共施設等に設置されているAEDを24時間使用できるようにはならないか。またAEDの表示サインは建物の玄関付近と設置場所にしかなく分かりにくい。併せて救命活動へのドローン活用による搬送についての見解は。
総務部長 AEDを屋外に設置した場合、盗難やいたずら等の管理面の問題が出てくる。今後様々な方法を検討したい。設置場所の表示と周知方法は検討する。ドローンによるAED搬送は、時間短縮や人員削減など効果的な面もあるが、AEDを搬送できるドローンの購入、操作できるスタッフの配置及び安全性の確保などが必要となるため、広域連合消防本部と連携を取りながら情報収集に努め、ドローンによる効果的な活用方法を検討していく。

● 廃校水族館について ● 天草市健康診査について ● 天草市夕陽の日制定について



浜崎 昭臣
議員

【廃校水族館について】

浜崎 高知県室戸市に廃校となった小学校を「むろと廃校水族館」として再利用し、大変人気の水族館がある。入館者は当初見込み年4万人をはるかに上回り20万人を突破するのは確実である。県下最大の漁港牛深にこそ必要と思うが実現できないか。

市長 うしづか海彩館に関し、大規模改修の基本構想を策定中である。専門業者を入れた計画策定の際、ミニ水族館の検討も行っていく。

【天草市健康診査について】

浜崎 地域健診において、健診日から結果報告日まで期間が長すぎるが、短縮できないか。

健康福祉部長 可能な限り日程調整を行い、市民の皆様早くお返しする。

【天草市夕陽の日制定について】

浜崎 11月18日「みつばちラジオ」で小山薫堂氏とラジオ対談をした。夕陽の話になり、その中で小山氏が「今日を夕陽の日にしませう」と提案された。夕陽の日が決定すれば、その日または「天草夕陽週間」にフォトコンテスト、俳句・短歌・川柳の投函箱設置、宿泊業、飲食業界等も企画をし、多彩なイベントができる。11月18日を「天草市夕陽の日」に制定できないか。

観光文化部長 「天草西海岸サンセット協議会」で夕陽の日を制定し、夕陽を生かした取り組みを行うことが、集客に繋がると思う。その際、期間に合わせ、写真コンテスト等を実施する。

浜崎 「天草西海岸サンセット協議会」では力強く決定された。市の協力を体制を問う。

市長 民間団体が主体となった取り組みを行政が連携・支援していくことが望ましいと思っている。決定に対し、今後の事業展開を聞いたうえで、本市の具体的な支援を協議する。また俳句、短歌、川柳等の活用については毎年10月の短歌大会との連携など、夕陽の日制定の共催事業として実施できないか検討する。

● 廃校の今後の取り組みについて ● 救急医療システムについて



五通 俊作
議員

【廃校の今後の取り組みについて】

五通 廃校になった小、中学校の跡地利用について、どのような利用がなされているか。

総務部長 跡地利用は、地区のコミュニティセンターや市の書庫として利用しているほか、地区の体育館やグラウンドとして活用している。また、民間の事業者等に売却や貸し付けを行い、機械製造や農業、福祉関係等の事業施設として活用している。

五通 牛深には、「むろと廃校水族館」と条件が合うところがあるが、今後の課題としての見解は。

総務部長 運営主体に大きな課題があり、本市直営での運営は厳しい。仮に民間事業者の要望等があったら、施設の貸し出しも含め支援できるかと期待している。

【廃校利用の計画について】

五通 廃校跡地の計画について、地域の団体等、会社や法人などの利用は。

総務部長 「天草市遊休財産等利活用促進条例」を制定し、この条例の適用を受け校舎を障がい者支援施設として利用している。また、

2件の事業者から活用したいとの話もある。

五通 廃校校舎の教室を改修し、空き家になった家の仏壇等を預かる方法はないか。

地域振興部長 空き家対策として市でそのような事業に取り組み考えはない。しかし、民間団体から提案があれば、廃校施設の活用にもなるので貸し出すことは可能ではないか。

【救急医療システムについて】

五通 救急医療システムについて、救急患者の命を守るためにも「クラウド対応12誘導心電図」について導入を検討する考えはないか。

市長 搬送時間が長くなる地域においては、大変有効なシステムだと考える。受入医療機関と協議を図り、その意見を踏まえたうえで、天草広域連合において、天草市長として検討されるよう要望していきたい。

クラウド対応12誘導心電図：救急搬送車内で記録した12誘導心電図をモバイル端末からクラウドサーバーへアップし、循環器専門医師がサーバーにアクセスすることで安全性高く12誘導心電図を確認できるシステム。

少人数教育充実の推進



蓮池 良正
議員

【小学校30人学級編成に努力を】

蓮池 小中学校の1クラス人員の基本は40人だが、熊本県では小学校低学年に限って、35人学級に努力されている。基本は国で考えて対策をたてていただくことが肝要だが、市町村としてもできるだけ現場に配慮し努力していくことが大切ではないか。

1クラスの児童生徒数が少人数に改正されるだけで、個人の尊厳を大事にして、教員の超過勤務にブレーキをかけることが出来ると思う。一人一人に視点を当てた教育推進は大変強く求められてきたことなので、「みんな違ってみんな良い」を原則に、個性あふれる天草人の創出にも一定の目標をもって取り組んでいっていただきたい。



教育部長 熊本県は、35人学級を小学校第2学年まで拡大して実施されており、今後は他学年においても少人数教育の導入を検討されること。

【学校給食費無償化に近づける努力を】

蓮池 学校給食費の公会計化が予定されており、日本国内各地で給食費無償化やそれに向かう保護者への補助金が制度として始められる自治体が生まれてきている。熊本県内でも実践例がある。多くの自治体が少子化に悩み、子育てしやすい地域づくりの大切な施策項目として「学校給食費の無償化への努力」が検討されることを求める。その前提として、1カ月2,000円程度の補助を実施するよう提起する。

教育部長 県内の状況は、3市2町6村が、「一律全額無償化または一部補助」を行っており、直近では荒尾市が平成29年10月から小学校の給食費の全額無償化に取り組んでいる。

本市においては、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、就学援助として給食費の援助も行っているため、給食費の一部助成は考えていない。

● 総合計画について ● スクールバスについて



門口 徹
議員

【天草市総合計画について】

門口 総合計画の前期基本計画の産業経済部門における評価、後期基本計画への反映は。

産業政策課長 5つの政策に17の施策計画を掲げ、18の成果指標を設定し、平成29年度の実績値は7項目が30年度の目標値を上回り、目標に近い成果が出ている。

経済部長 農林水産業をはじめ働き手の確保が厳しくなる中、成果の出たものは引き続き、生産者の所得向上を図り、引き続き中小企業、地場産業の振興にも取り組む。

門口 地域経済構造分析の特徴は。

産業政策課長 経済構造分析では、外貨を稼いでいるのは水産加工品製造業、次に海面養殖業、耕種農業、畜産で、農林水産業全般で外貨獲得に大きく貢献している。

【スクールバスについて】

門口 市内では11月まで、不審者事案が15件と多発する中、有明町須子地区生徒の自転車通学路の一部1・5km区間に民家等がなく住

民の目が行き届かない状況で、数年前通学路へ猪が出没し帰宅困難となった事案は他に例がない。学校統廃合時の条件で通学距離6km以内の生徒もスクールバスを利用する事例も踏まえ、管理規則第四条第四号の「通学の安全を図る上で必要がある」通学路に該当しないか。

教育部長 対象生徒の通学時の交通状況や市内他の地区の状況等を総合的に勘案した結果、現状ではスクールバスに乘車可能な通学路に該当しない。他にも同様な地区もあり、須子地区を認めると、本市の財政的にも厳しい状況から、難しい対応となる。今後も、登下校は各家庭でご対応いただき、地域の皆様のご協力もお願いしたい。

門口 市長も日頃から市民目線の行政改革と言っている中で、現状調査を実施し、その結果、スクールバス利用が必要であれば、認めていただきたい。



10月23日～25日 建設経済委員会(田中茂、浜崎義昭、平山泰司、池田裕之、赤木武男、古賀源一郎、五嶋善彦)

岩手県奥州市 地域6次産業化の取り組みについて

奥州市では、ブランド農畜産物自体は知られているものの、それが奥州市の農畜産物であるとの認知度が低いことから、第1次地域6次産業化ビジョンを策定し、単に農畜産物を使用し新商品を作ることだけでなく、農畜産物を育てる人の魅力、作物のストーリーなどのこだわりを伝えることによって農畜産物や加工品の付加価値を高めることと併せ、奥州市の知名度を高める取り組みを行ってられました。

本市においても6次産業化に取り組んでいますが、地域ぐるみで6次産業化に取り組む姿勢やビジョンを策定し事業を進めて行くやり方など、大変参考になる事例であると感じました。

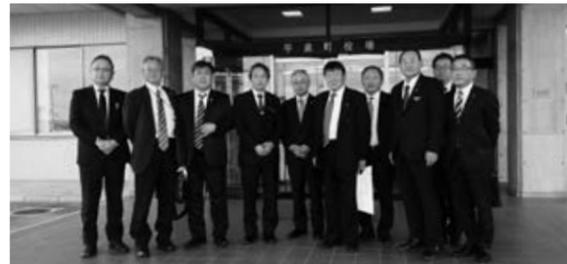


岩手県平泉町 世界遺産登録後の観光振興と課題について

平泉町では、中尊寺などが世界遺産登録となった平成24年には観光入込客数が264万人と大幅に増加し、その後は200万人を割り込むまで減少したものの、平成29年には216万人にまで回復したとのことでありました。

世界遺産を守るための取り組みとして、自然と歴史が調和した貴重な文化的景観の保存に努めているほか、広域観光の取り組みや多言語対応や音声ガイドペンなど外国人観光客の受け入れ整備などが行われていました。

本市においては、世界遺産登録の初年度であり、今年度は入込客数の増が見込まれますが、今後は減少をいかに少なくとどめるかが重要になってくると思われ、先進地である平泉町の取り組みは、広域的な取り組みや外国人の受け入れ体制など、大変参考になるものでありました。



10月31日～11月2日 教育厚生委員会(中尾友二、鶴戸継啓、脇島義純、船辺修、益田政昭、澤井一富)

島根県出雲市 自治体病院の経営改善等の取り組みについて

出雲市では、市中心部には大規模な医療機関が複数立地しており、市中心部から離れた場所に199床の市民病院を有しているとのことでした。患者数は減少傾向にあるものの、地域包括ケア病棟の導入により、入院単価が上昇し、事業収益は微減程度であるとのことでした。

主な医師確保対策としては、大学医学部付属病院等との連携、臨床研修医の積極的な受け入れによる医師育成等を実施されているとのことでした。

本市においても市民病院の財政健全化が喫緊の課題となっており、入院診療単価を上げる取り組み等、大変参考になる事例であると感じました。



島根県雲南市 自治体病院の経営改善等の取り組みについて

雲南市では、市民病院は281床を有し、中核的な医療機関としての位置づけであります。平成19年には、財政悪化のため、内部留保資金も大幅に落ち込んだことから、病院を応援する住民組織が立ち上がり、病院の清掃活動等のボランティア活動が行われているとのことでありました。

医師数も半減するなど厳しい状況が続いたことから、「地域医療人育成センター」が開設され、医学生による地域医療研修及び地域医療実習の実施、初期・後期臨床研修医の募集と指導、院内保育所の設置等、様々な取り組みが進められているとのことでありました。

医師確保対策を進めている本市にも、次世代の医療人を育成するシステムなど、大変参考になるものでありました。



10月16日～18日 総務政策委員会(中村三千人、若山敬介、浜崎昭臣、大塚基生、宮下幸一郎、前田正之、五通俊作)

高知県高知市 移住・定住施策(二段階移住施策)について

高知市では、大都市圏から田舎への移住に不安を抱え、移住に踏み出せない潜在的な移住希望者を対象に、一段階目として、県内では比較的都市機能が整った高知市にいったん移住・滞在してもらい、二段階目として、高知市を拠点に高知県内を巡りながら、自分に合った場所を見つけて、最終的に移住してもらう「二段階移住」を県内市町村と連携し、取り組んでおられました。高知市の広域的な移住定住政策は、大変参考になる事例であると感じました。

高知県室戸市 普通財産の利活用(むろと廃校水族館)について

むろと廃校水族館は、平成18年3月末に廃校となった旧椎名小学校を、平成26年8月に日本ウミガメ協議会が博物館や廃校水族館に利用できないか提案したとこ

ろ、地元からも集会所や避難所、高齢者の活動の場として利用したい旨の要望があり、市では、平成27年6月に「旧椎名小学校活用検討委員会」を立ち上げ、平成30年4月26日にオープンしたとのことでありました。

水族館は、総鉄筋コンクリート3階建てで、1階はエントランスホール、2階は室戸の海域に生息している約50種類1,000匹以上の海洋生物を飼育・展示。また、3階は図書室、理科室、研修室に改修し、屋外プールはウミガメやサメが泳ぐ姿を間近で見ることができるミニ水族館として運営されていました。

室戸市の廃校を利用した取り組みは、海に面した本市においても大変参考になる事例であると感じました。



10月31日～11月2日 市民生活委員会(下田昇一郎、柴田誠、蓮池良正、勝木幸生、濱洲大心、門口徹)

京都府長岡京市 災害用マンホールトイレの設置について

長岡京市は、地域防災計画等に基づき一時避難所となる市内全14小中学校に平成21年からの5年間で災害用マンホールトイレを204基設置。総事業費は1億5,000万円で、1/2を国庫補助事業を活用して整備を行ったとのことでありました。

本市では、市民センター第2駐車場に5カ所設置済みであり、さらに、現庁舎新館を解体した後に外構工事と併せてマンホールトイレ10カ所を新設する予定であります。

マンホールトイレは、下水道に直結するものである。下水道区域である本渡地域が想定されておりますが、市内の第一時避難所や下水道が普及していない地域における災害用トイレの設置(地下ピット型)や、その代案等についても今後検討していく必要性を感じました。

京都府京都市 ごみ減量化の取り組みについて

(しまつのごころ条例の制定による2Rの推進について・事業系一般廃棄物の減量化について・移動式拠点回収事業について)



京都市は、ごみの受入量が最も多かった平成12年度からするとマイナス50%の減量に成功したとのことでありました。

また、ピーク時は367億円かかっていたごみ処理コストも、平成28年度には213億円と、こちらもマイナス42%と高い削減率を達成されておりました。

京都市のごみ減量化の取り組みは、先進的な条例の制定に伴うものでありますが、実際にごみが減半するほど順調に減量化が進んでいる要因は、担当部署の継続的で丁寧な頑張りが大きく影響していると感じました。

大阪府池田市 窓口業務の民間委託について

池田市では、住民異動に伴う諸手続きにかかる時間をできるだけ短くし、効率的かつ市民満足度を高めるようなサービスを提供するため、平成21年5月に総合窓口を開設。その後、行財政改革等に伴い職員数が減



る中で、人件費等の圧縮を図り、「民でできるものは民で、官にしかできないものは官で」を推進するため、平成23年7月1日より総合窓口の業務委託を開始しておられました。(写真は池田市の総合窓口)

池田市は、総合窓口の民間委託により年間約1,200万円の人件費を削減し、財政的な面からの効果が出ているだけでなく、市民からの苦情もなく市民サービスの向上につながっている点は参考になる取り組みでありました。

天草の未来を担う子どもたちからの メッセージ



天草市立五和中学校
3年 井上 美来 さん

私は、五和町が大好きです。学校からの帰り道に地域の方々が「お帰り」と声をかけてくださいます。私にとって、五和全体が家族のような温かい存在です。登下校中にスクールバスか

ら外を眺めるとイルカが見えることもあります。そんな私たちの町には、イルカセンターが建設されます。このことにより観光客が増加し、今よりもっと町が活性化するとしたら、それはとても嬉しいことです。しかし、観光客が増えるということは私たちの町のゴミも増えてしまうかもしれないということです。いま五和中学校では、ボランティアの一環で海岸のゴミ拾いをしています

海のゴミを見ると、このゴミがイルカの生態に影響するのではないかととても心配です。私は、天草の美しい自然を守りながら今よりもっと活気あふれる温かい町にして欲しいです。そして、ボランティア活動に参加する人がたくさんいて、イルカを守るためにも自然と共存できる天草市であって欲しいと願っています。



天草市立河浦中学校
2年 森田 葵衣 さん

私は、昨年の7月から講習を5回受けて、10月に新ボランティアガイドとして、デビューしました。このボランティアガイドに参加しようと思った理由は、二つあります。一つ目は、現在、ボ

ランティアガイドとして活躍されている先輩たちの姿を見て、私もチャレンジしてみたいと思ったからです。二つ目は、昨年、崎津集落が世界文化遺産として登録され、もっと私も崎津集落のことを知り、地域に貢献していきたいと思ったからです。ボランティアガイドを行ってみて、観光客の皆さんをお迎えしたときは、緊張や不安な気持ちで一杯でしたが、パネルを思い通りに使って、練習通りに説明することができました。その日に観光客の方々から、帰りに

「ありがとうね。」「また来るけんね。」と声をかけていただき、とてもやり甲斐を感じました。これからもガイドを行う中で、沢山の観光客の方々にとって、思い出に残るようなガイドをしていきたいと思っています。ボランティアガイドを通して、世界文化遺産である崎津集落の素晴らしさを伝えていきたいと思っています。ただ、今後もボランティアガイドを引き継いでいくには、私たちだけの力ではできません。天草市の関係の皆様のご協力をお願いします。

編集後記

12月21日で閉会した第6回定例会は、「平成」最後の年末に開かれる定例市議会でした。昨年に続き全国的には自然災害の多い一年間だったことに印象付けられ、地球温暖化防止に官民挙げた様々な取り組みが期待されています。

所属する市民生活常任委員会が、先進地視察で訪問した京都市では、「しまつのこころ条例」なるゴミ出しのルール化が、一般家庭のみならず、事業所にも徹底されていて、分別の徹底と、燃やすごみの減少が肝要と再学習しました。市民社会が、一時の損得勘定(感情)だけでなく、住み続けられる地球環境の維持保全に協力していくことが優先されたいと願っています。

(蓮池良正)



蓮池良正



副委員長
下田昇一郎



委員長
柴田 誠



広報広聴
委員会



門口 徹



五通俊作



鶴戸継啓



濱洲大心